

## 集落部の魅力発見

寺中地区でまちあるきワークショップ

寺中地区で11月12日、地区住民と熊本県立大学によるまちあるきワークショップが開催されました。

同大学の柴田祐教授と学生など10人が3班に分かれ、地区の人たちと歩きながら見つけた魅力を付箋しぱたゆうに記録。地図に貼り付けて共有し、魅力を誰に、どのように発信していくかを議論おだてるみしました。小田照美区長は「自分では思い付かない発信方法を提案してくれた」と喜びました。

今回の成果は、「益城町集落部観光プラン」の策定に活用されます。



津森神宮で宮司から話を聞く学生たち



整備された屋外消火栓ホース格納庫

## 宝くじ助成で消防力を強化

屋外消火栓ホース格納庫を18台整備

コミュニティー助成事業を利用して、町内の屋外消火栓ホース格納庫18台が更新されました。

コミュニティー助成事業とは、一般財団法人自治総合センターが、宝くじ受託事業収入を財源としてコミュニティー活動に必要な備品の整備などに対して助成を行い、地域コミュニティーの発展と住民福祉の向上を図る、宝くじの社会貢献広報事業です。

今回の格納庫整備により、火災発生時の迅速な消火活動が期待されます。

## 百歳おめでとうございます

辻の城団地たかはしとみこの高橋富子さん

高橋富子さん(大正10年10月26日生)が100歳の誕生日を迎え、百歳表彰を受けました。

現在も自分で料理や洗濯をしている、とても元気な高橋さん。「熊本地震の時、仮設団地の集会所で教えてもらったのを思い出しながら作っています」と、折り紙で作った花飾りを見せてくれました。

表彰状を受け取り、「デイサービスひけつに持って行って、みんなに見せます。長寿の秘訣は、デイサービスで教わったヨガの深呼吸です」と笑顔で話しました。



㊤折り紙で作った花飾り ㊦表彰を受け笑顔の高橋さん

忽領2町内ほんだまさえの本田政榮さん(大正10年11月8日)が100歳の誕生日を迎え、百歳表彰を受けました。

野球やサッカーなどのスポーツをテレビで観戦するのが好きな本田さん。「何度も表彰状を読んで喜んでいました」とご家族が教えてくれました。

Pickup Plus+  
今月のプラス